

湖北広域行政事務センター

新一般廃棄物処理施設整備運営事業

造成工事・ストックヤード棟建設の進捗状況

造成工事



現在の工事の進捗状況は 48.4%です。

現在、上記画像の赤枠部分に「雨水貯留施設」を建設するための、基礎杭の施工を実施しています。

雨水貯留施設とは、雨水を一時的に溜めておく施設で、河川の氾濫や洪水のリスクを軽減する役割をもっています。

基礎杭の施工完了予定日は令和6年12月中旬頃の計画をしています。

雨水貯留施設は下記画像の赤枠部分の地下に建設しています。

敷地内に降った雨水は、地下0.92m以深にある水槽に溜まっていきます。溜められる最大容量は、約5,300tです。



完成イメージ

【杭の仕様】

- ・太さ：PHC 直径 350mm
- ・長さ：27.0m ~ 45.5m
- ・本数：合計 168 本

ストックヤード棟



現在の工事の進捗状況は 26.9%です。

現在、上記画像の赤枠部分に建設している「ストックヤード棟」の、骨組みとなる鉄骨を組み立てるうえで、必要となる仮の足場を設置しています。

10月より鉄骨の組み立て工事を実施した後、屋根および側壁の下部コンクリート部分を構築し、順次仕上げ工事を行っていきます。

ストックヤード棟の完成予定日は令和7年1月頃の計画をしています。

ストックヤード棟とは、資源ごみを一時的に保管しておく施設です。

現在のストックヤード棟



完成イメージ



【ストックヤード棟の規模】

- ・ストックする品目：ガラスびん、古布、古紙、紙パック、ペットボトル、缶類、がれき類等
- ・年間ストック量：1,112t